

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	重度身体障害児・者居宅改善整備費補助事業	所管	保健福祉部 障害福祉課
			TEL 2998-9116

事業の目的 (何の為に 行うか)	重度身体障害者の住居環境の改善及び経済的負担の軽減
------------------------	---------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	重度の下肢又は体幹機能障害者の居住改善に要する費用の一部	対象とした数	655	人
		実際に 利用した数	0	人

活動の内容	(何を したか)	<p>【重度の身体障害者が、障害に応じて居住しやすい居宅の一部を改造する際に、予算の範囲内で補助を行う事業】</p> <p>1 補助を受けようとする者は、関係書類を添えて市に申請する。</p> <p>2 市は、審査の上適否を決定し、通知する。</p> <p>3 申請者は、工事が完了したら市へ報告書を提出する。</p> <p>4 市は、現地調査等の必要な審査を行い、適否を決定し、補助金の交付決定(却下)を行う。(補助額は1件240,000円が限度)</p>							
活動実績	項目名	補助件数	0	項目名	0	項目名	0	項目名	0
		単位	件		単位		単位		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,200	0	752	2.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	補助の実施割合	補助件数÷対象者数×100	1	0	*****
			単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了							
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	040300	TEL	2998-9116
事業コード	040315	重度身体障害児・者居宅改善整備費補助事業	保健福祉部	障害福祉課		
開始年度	昭和 49 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市障害者計画			所沢市重度障害者居宅改善整備費補助要綱			
	関連・類似事業	住宅改善支援助成事業(介護保険課)、日常生活用具給付事業(障害福祉課)						
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かになって健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	4節 障害者福祉	中柱	2 福祉施策の充実	小柱

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	重度身体障害者の住居環境の改善及び経済的負担の軽減						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	重度の下肢又は体幹機能障害者の居住改善に要する費用の一部			利用数の考え方 事業の利用者			
	対象数	単位	平成 18 年度	664	人	平成 19 年度	655	人
	事業の具体的な内容及び実施方法	【重度の身体障害者が、障害に応じて居住しやすいよう居宅の一部を改造する際に、予算の範囲内で補助を行う事業】 1 補助を受けようとする者は、関係書類を添えて市に申請する。 2 市は、審査の上適否を決定し、通知する。 3 申請者は、工事が完了したら市へ報告書を提出する。 4 市は、現地調査等の必要な審査を行い、適否を決定し、補助金の交付決定(却下)を行う。(補助額は1件240,000円が限度)						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		1,920	1,200	1,200	
	決算(見込み含む)		720	0		
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人)	( 人)	( 人)	( 人)	
	正規職員人件費		0.11 人	1,012	0.08 人	752
	公債費		0			
	事業費合計		1,732	752		
	財源内訳	一般財源		1,572	752	1,200
		国・県支出金		160	0	
		受益者負担金				
市債						
市民一人当たり(単位:円)		5.1	2.2			
利用数一単位あたり(単位:円)		866,040.0	#DIV/0!			

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	補助件数	実績による	件	3	0	5
	成果分析	補助の実施割合	補助件数÷対象者数×100	%	1	1	1
				%	達成率	45.0	****

⑦一次評価	評価項目	現状評価	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	日常生活用具の品目の中に「住宅改修」が追加(平成16年4月)されてから、本事業の対象の一部がそれに該当したことから、本事業の利用者は減少傾向にある。このため、平成19年度予算編成においては、従来8名分の予算措置をしていたが、5名分の措置に減額した経緯がある。	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	評価理由	

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード
	基本目標		
	主要課題		